

行政改革 平成29年度の取り組み結果

「愛川町行政改革大綱第6次改訂版」（平成27年度～平成31年度）に基づき、平成29年度に行政改革に取り組んだ内容は次のとおりです。

行政改革の効果額は、平成30年度以降の予算に反映されます。

改善項目	取り組み結果	効果額(千円)
1. 協働のまちづくりの推進 (No. 4) 消防団員の確保方策等の検討	地域防災力の強化や消防団員の確保を推進するため、町内工業団地内の災害に特化した機能別消防団を創設した	—
(No. 6) 各種関係団体等との連携によるシティプロモーションの推進	高校生のアイデアを活かして、町観光キャラクター「あいちゃん」を活用し、町の魅力をPRする「町観光キャラクター『あいちゃん』サポーター事業」を、県立愛川高等学校バレーボール部有志との協働で実施することとした（行政提案型協働事業）	—
2. 経営感覚に基づく行財政運営の推進 (No. 11) 経常的事務経費の削減	庁舎等の「清掃・保守運転」、「常駐警備・環境衛生」、「電話交換」、「総合窓口案内」の4業務について、業務の統合や昼休み中の総合窓口案内業務の追加など執行方法を見直し、経費を抑制しつつサービスの向上を図ったほか、水道施設4施設の電力供給契約について入札を行い、平成29年9月からPPS契約に切り替えたことにより、経常的経費の削減を図った また、戸籍・住民票・税等の窓口用封筒及び新たに作成する「行政区・自治会ハンドブック」について、広告を募ることにより、掲載料等で費用の全額を賄った	19,451
(No. 16) 行政評価制度・外部評価制度の推進	行政評価制度・外部評価制度を活用し、事務事業や補助金の取り組み状況等について精査・見直しを行った結果、敬老及び長寿夫妻祝金品支給事業について、近隣市町村の状況等を鑑み、支給金品の一部引き下げを行うとともに、町登録統計調査員連絡会の経費削減策を検討し、補助金額を減額した また、畜産振興対策事業補助金の効果を高めることを目的に、使途を畜産農家の経営環境の向上に向けたPR経費へと変更した	120
(No. 18) ごみ・し尿収集業務の委託化の検討	美化プラントの可燃ごみ収集運搬業務について、委託化を拡大（ダンプ車1台を新たに委託）することとした ※委託化に伴い、退職者1名を不補充とするほか、臨時職員2名を削減	527
3. 公共施設のあり方の見直し (No. 23) 公共施設等総合管理計画の策定及び推進	今後、老朽化した公共施設の建て替えや長寿命化に係る経費が増大することが懸念されており、費用の平準化や適時・適切な施設整備を可能とすることにより、「町公共施設等総合管理計画」に基づく施設管理を推進していくため、従前の「庁舎周辺公共施設整備基金」を庁舎周辺に限らず、全ての公共施設の整備や改修に活用できるよう、「公共施設整備基金」としてリニューアルした	—
合 計		20,098

※ 改善・拡大等のプラス効果額については掲載していません。

各改善項目の内訳

2 経営感覚に基づく行財政運営の推進

No.11 経常的事務経費の削減

項 目	効果額(千円)
庁舎等の「清掃・保守運転」、「常駐警備・環境衛生」、「電話交換」、「総合窓口案内」の業務統合など ※契約期間となる3年間の合計額	16,729
水道施設4施設のPPS契約への切り替え ※平成29年9月～平成30年8月までの効果額を掲載	2,600
窓口用封筒への広告掲載	122
「行政区・自治会ハンドブック」への広告掲載 ※新規事業のため、削減額を算定していない	—
計	19,451

No.16 行政評価制度・外部評価制度の推進

項 目	効果額(千円)
敬老及び長寿夫妻祝金品支給事業の見直し	80
町登録統計調査員連絡会補助金の減額	40
畜産振興対策事業補助金の使途の見直し	—
計	120

No.18 ごみ・し尿収集業務の委託化の検討

項 目	効果額(千円)
可燃ごみ収集運搬業務の委託化拡大 ※退職者・臨時職員2名の削減額と、委託料増額分との差額	527
計	527